

# 海外における農村イノベーション政策 と6次産業化

-EU、フランス、韓国の事例を中心に-

日時 平成25年3月15日(金)14時～16時

場所 農林水産政策研究所セミナー室

報告者 井上 荘太郎  
須田 文明  
松田 裕子  
李 裕敬

1

## 研究プロジェクトの構成

消費者ニーズの変化に対応した食品サプライチェーン再編に関する研究(平成22～24年度)

- (1) サプライチェーンの不安定要因等に関する分析
- (2) 6次産業化に関する分析
  - 1) 理論的整理
  - 2) ビジネスモデル
  - 3) 海外類似政策(平成24年度)
- (3) 諸外国における地理的表示制度の保護制度の運用実態に関する分析

2

## 報告内容

1. 分析視角： 6次産業化と農村イノベーション  
(井上 荘太郎)
2. 海外類似政策の分類枠組
3. 海外事例
  - 3.1 EUのLEADER事業 (松田 裕子)
  - 3.2 フランスの競争力拠点 (須田 文明)
  - 3.3 韓国の国家食品クラスター等 (李 裕敬)
4. まとめ：6次産業化への含意

1. 分析視角：6次産業化と農村イノベーション

# 農山漁村の6次産業化

〈平成23年度「食料・農業・農村白書」より〉

- ・ 「1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組」

※地域資源：農林水産物、バイオマス、自然・景観・歴史・文化等

〈参考〉「食料・農業・農村基本計画」(2010年3月)より抜粋

## 3. 農村の振興に関する施策

### (1) 農業・農村の6次産業化

- ・ 「農業者による生産・加工・販売の一体化や、農業と第2次産業・第3次産業の融合等により、農山漁村に由来する農林水産物、バイオマスや農山漁村の風景、そこに住む人の経験・知恵に至るあらゆる「資源」と、食品産業、観光業、IT産業等の「産業」とを結びつけ、地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を促す農業・農村の6次産業化を推進する。

これらの取組により、新たな付加価値を地域内で創出し、雇用と所得を確保するとともに、若者や子どもも農山漁村に定住できる地域社会を構築する。」

## 6次産業化とイノベーション

### 1. 6次産業化の取組

農林漁業者が、自らまたは2次産業事業者、3次産業事業者と連携して

- ①顧客ニーズに関する知識を入手
- ②地域資源を活用したモノ・サービスを特定・設計
- ③新たなバリューチェーンの構築に必要な知識・技術を確保



顧客が求める新たな価値の実現

### 2. 6次産業化による新しい経済組織の形成

- ①農林漁業者の2次産業、3次産業への多角化・統合化
- ②農林漁業者と2次産業事業者、3次産業事業者との連携、ネットワーク化

### 3. 多様な主体・業種・分野の新たな結合・融合

- ⇒ **イノベーションを誘発しやすい環境の醸成**
- ⇒ 多様なニーズに対応して事業が拡大し、経済成長

### 4. 1次産業と2次、3次産業の広範な連携・ネットワーク化

- ⇒ 知識・技術の増大、シナジー(相乗)効果の発揮
- ⇒ 農山漁村での所得・雇用創出

# イノベーションを誘発する経済組織

## イノベーションの定義

「(イノベーション)とは、その体系の均衡点を動かすものであって、しかも新しい均衡点は古い均衡点からの微分的な歩みによっては到着しえないようなもの」

郵便馬車の連結 ≠ 鉄道

企業者機能の強調 シュムペーター・マーク I

## イノベーションのマネジメント

大企業による研究開発のマネジメント (環境作り)

企業者機能の無用化 シュムペーター・マーク II

## イノベーションとネットワーク

イノベーションを誘発するもの⇒広範で多様な情報・知識の蓄積・交流⇒ネットワーク

ネットワークの定義: ある「関係」の下にある程度まで継続的に「連結」されている「諸単位」の統一体(今井(1986))

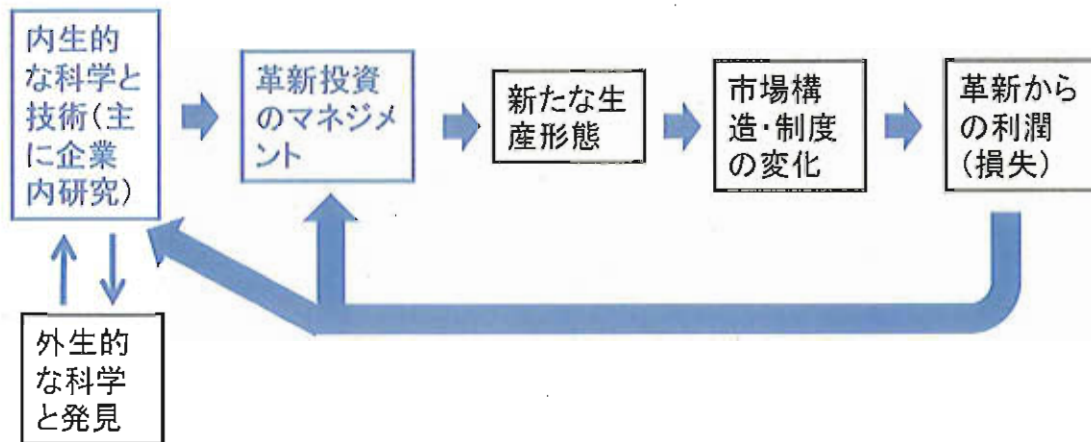
情報・知識の蓄積・交流の強調 シュムペーター・マーク III(今井(1990))

7

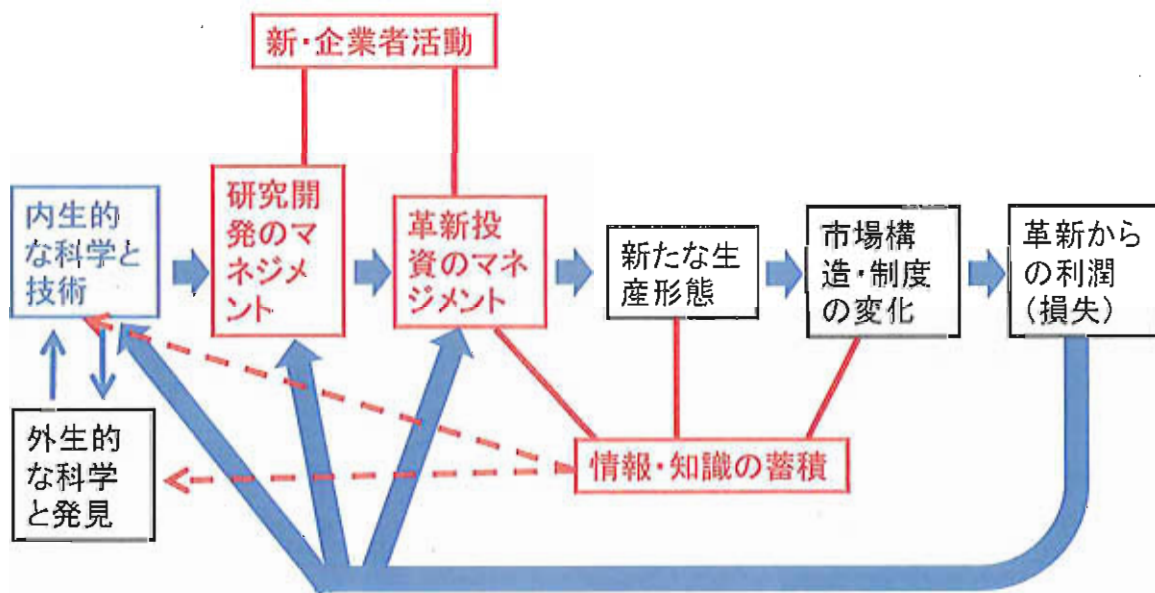


経済発展モデル: シュムペーター・マーク I

8



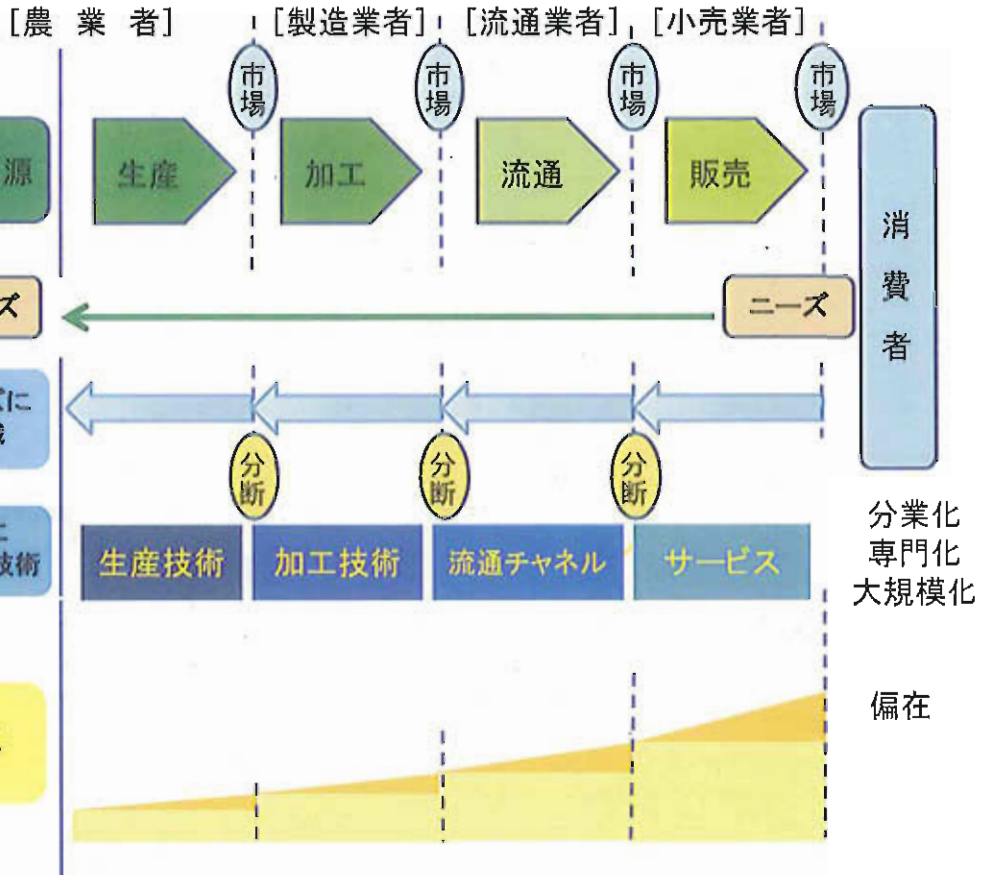
経済発展モデル:シュムペーター・マークII



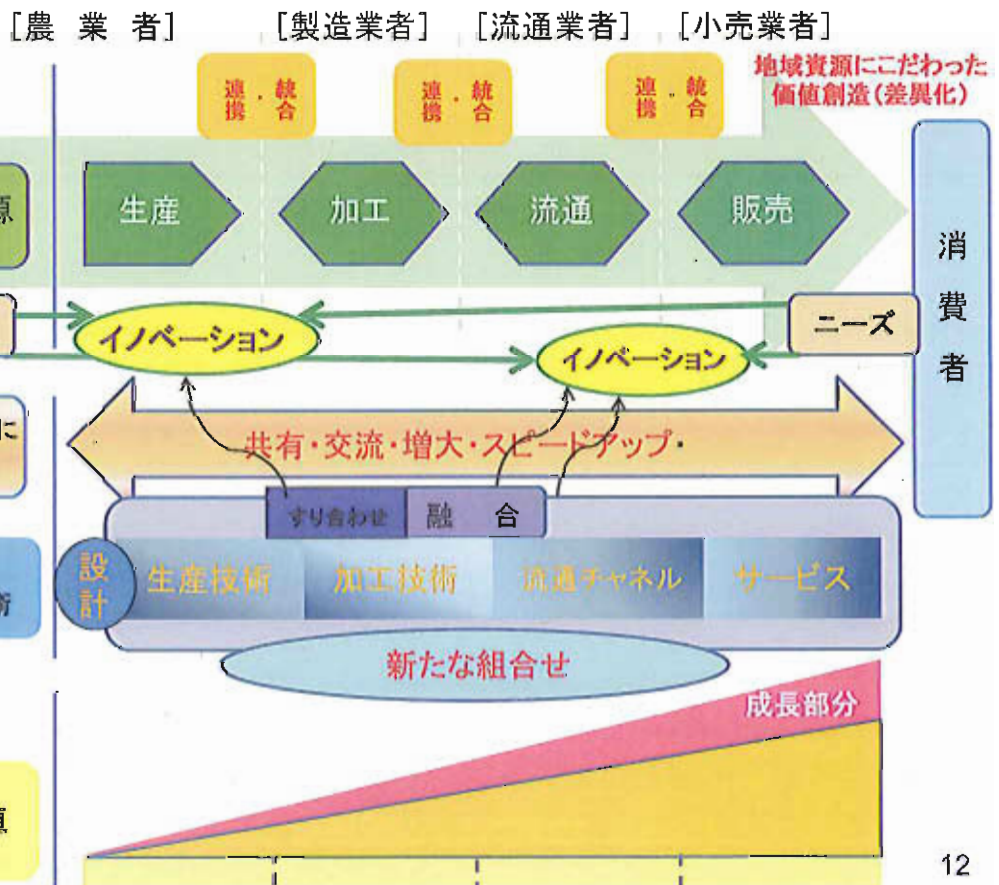
経済発展モデル:シュムペーター・マークIII

今井(1990)より

分業によるシステムと情報・知識の流れ



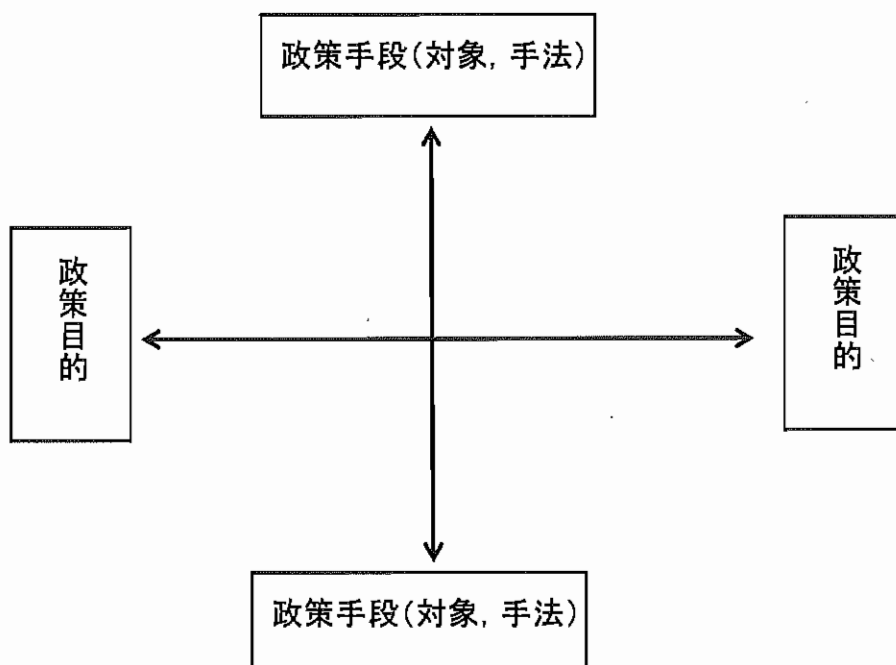
6次産業化システムにおける情報・知識の流れの拡大とイノベーションの促進



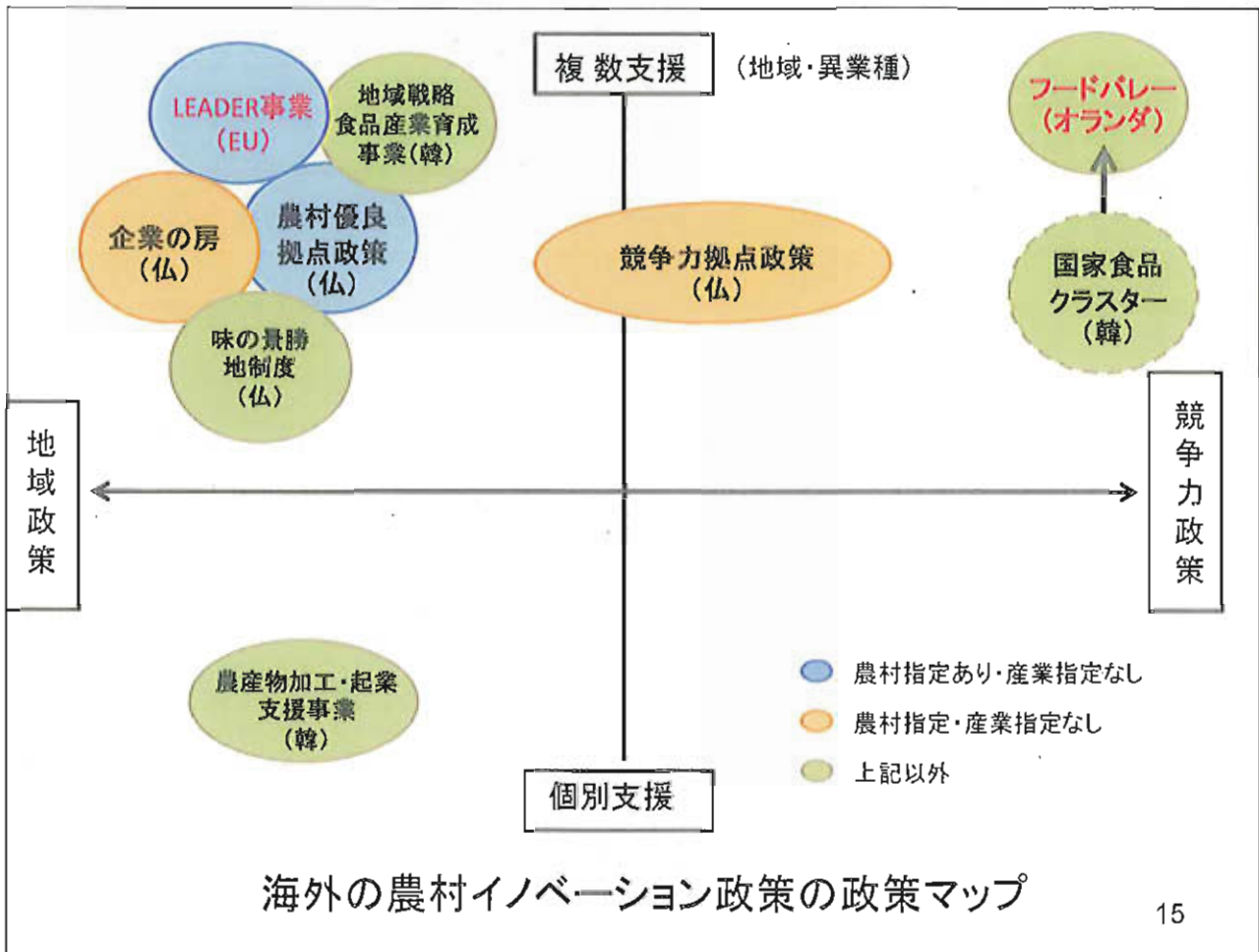
## 2. 海外類似政策の分類枠組

13

### 類似政策の分析・類型化のための認知空間



14



### 3. 海外事例

#### 3.1 EUのLEADER事業

#### 3.2 フランスの競争力拠点

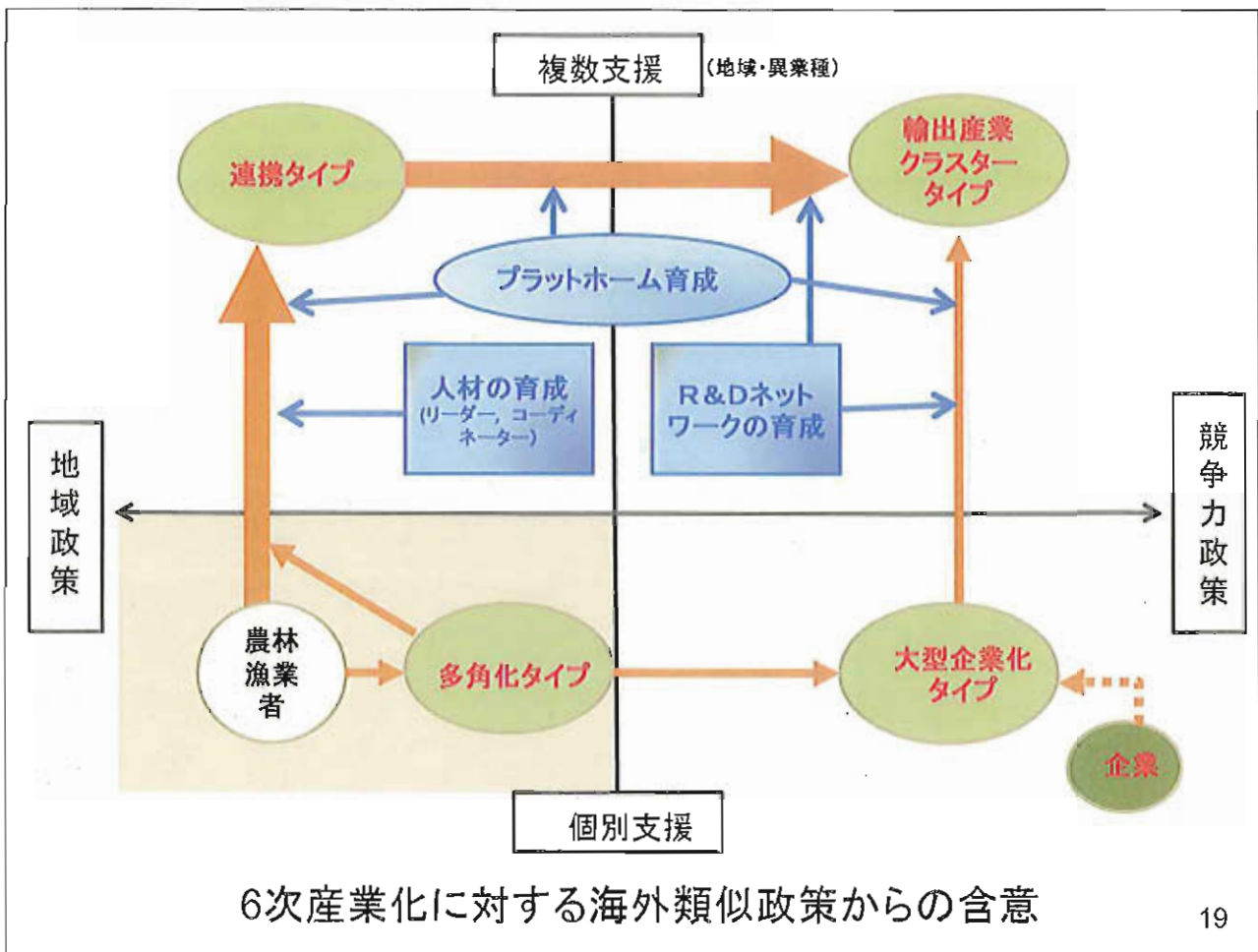
#### 3.3 韓国の国家食品クラスター等



## 4. まとめ：6次産業化への含意

### 海外類似政策の分析から特に強調される事項

- (1) EUのLEADER事業：  
農村振興のための人材育成
- (2) フランスの競争力拠点：  
研究開発クラスターの育成  
支援制度の補完性
- (3) 韓国の3政策：  
目的に対応した政策設計



## 主な参考文献

1. 今井賢一(1990)、「情報ネットワーク社会の展開」, 筑摩書房
2. 今井賢一(1986)、「イノベーションと組織」, 東洋経済新報社
3. 井上荘太郎・須田文明・後藤一寿(2013)、「南仏の香水・香料クラスターPASSの成果と含意」, 『フードシステム研究』, 第19巻3号, 283~288ページ。
4. 森嶋輝也(2012)食料産業クラスターのネットワーク構造分析 —北海道の大豆関連産業を中心に—, (独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター。
5. シュムペーター, ヨセフ A. (1926)、「経済発展の理論」(塩野谷・中山・東畑訳), 岩波書店
6. シュムペーター, ヨセフ A. (1950)、「資本主義・社会主義・民主主義」(中山・東畑訳), 東洋経済新報社
7. 須田文明・井上荘太郎・後藤一寿「フランスにおける地域競争力政策の展開」, 『フードシステム研究』, 第19巻3号, 289~294ページ。